

## 第16回 経営協議会 議事要録

日時 平成18年6月22日(木)15時00分～16時40分  
場所 事務局第2会議室  
出席者 宮田亮平学長、太田和良幸理事、玉井賢二理事、  
川井 學音楽学部長、石田義雄委員、海老澤 敏委員、高階秀爾委員、  
中村胤夫委員、根本二郎委員、末永壽男会計課長  
監事：中島尚正監事、竹内雄也監事  
欠席者 佐々木正峰委員、六角鬼丈美術学部長

議事に先立ち、議長から下記のとおり4月から委員が交代した旨紹介があった。

末永壽男会計課長(中西 満会計課長の後任)

併せて陪席者の異動について、下記のとおり紹介があった。

中島尚正監事、増村紀一郎大学美術館長、金 昌国演奏芸術センター長、

植田淳一総務課長、湯浅芳雄学外連携・研究協力課長、成塚静男会計課参事役、

岡信孝則施設課長、坂井善一学生課長

### 議題

1. 平成19年度概算要求に係る重点事項の概要について  
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 平成17年度財務諸表(案)について  
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。  
なお、審議の中で次の意見が出された。  
(主な意見)
  - ・国立大学法人の財務諸表は民間のそれと違うので分かりにくい。大学のおかれた状況、問題点、課題等を分析整理した資料がほしい。
  - ・教育関係事業は長いスパンで見るべきであり、短期間ではその効果は現れにくい。
3. 平成18年度収入・支出予算(案)について  
議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
4. 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書について  
議長から標記のことについて提案があり、総務課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。  
なお、審議の中で次の意見が出された。  
(主な意見)
  - ・広報戦略は重要な経営戦略であり、広報室を設置して対応することは有意義であるが、学部を超えた広報戦略は双方の調整を十分行う必要がある。
  - ・知的財産戦略策定プロジェクトを立ち上げたことは重要である。今後、具体的な知的財産の活用を進める必要がある。
  - ・監査室を設置し、チェック機能を構築したことは有意義である。
  - ・共同購入やアウトソーシングを進めることは重要であり、今後、経費削減の効果を分析し、質と効果を維持しながら進めることが重要である。

- ・非常勤講師の全体枠を抑制しているが、教育の質の低下につながらないようにしなければならない。
  - ・美術館だけではなく、楽器・音楽資料の資料館を設置し活用していくべきである。
- 5．大学院映像研究科博士後期課程「映像メディア学専攻」の設置申請について  
議長から標記のことについて提案があり、総務課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

#### 報告及び連絡事項

- 1．東京芸術大会計通則の一部を改正する通則について  
会計課長から資料に基づく報告があった。
- 2．藝大ルネッサンスと藝大フレンズの寄附金の受入状況（平成18年1月～3月分）について  
学外連携・研究協力課長から資料に基づく報告があった。
- 3．「エルンスト・バルラ八展」入館者数について  
大学美術館事務長から資料に基づく報告があった。
- 4．その他  
特になし